工業会 日本万引防止システム協会が令和7年度通常総会

防犯民主主義実現の旗の下　協働防犯への研鑽

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会の実現に向けてJEASの役割を果たそう

工業会 日本万引防止システム協会（JEAS、稲本義範会長）は、6月6日に「第24回 令和7年度通常総会」（テーマ：防犯民主主義実現の旗の下　協働防犯への研鑽）を主婦会館プラザエフ（東京都千代田区）で開催した。

第1部総会は9階スズランで行われ、会長挨拶、議長選出と続き▽第1号議案：令和6年度事業報告、収支決算の件▽第2号議案：令和7年度職業専門委員の選出▽第3号議案：令和7年度組織・人事の件▽第4号議案：令和7年度事業計画、収支予算の件のすべての議案が可決された。

稲本会長の挨拶要旨は次の通り。

当工業会の主眼は「防犯民主主義実現の旗の下　協働防犯への研鑽」に置いている点です。理事会での毎回の勉強会、サイバーセキュリティ、JEAS検定講習会、推奨顔認証システム検定、科学保安検定講習会、データガバンナンスや個人情報に関するセミナー、セキュリティショー東京と大阪での公開セミナー、第1回ファミリーセミナーでの子供たちとのゲルマニウムラジオ作りなど、毎月セミナーを開催しました。結果的にそれらは、業界全体のパワーアップになり、会員間の交流や取引が目に見えて増えていると感じます。実際、掲示を義務付けているEASステッカーの出荷数は前年の1・7倍にアップ、顔認証システムのこの5年で5・7倍になっています。

そして、本年度はその良き流れを未来への紡いでいけるようにします。

さらに、誰もが安全安心を等しく享受できる防犯民主主義の実現に向けて、覚悟をもって臨むということです。経済産業省指定のセキュリティ機器の工業会として、内閣府の個人情報保護委員会の認定個人情報保護団体として、法を順守することは第一義と考えますが、それよりも上位に位置するのが、法の改正時にその民主的プロセスに参画することです。その際、必要とされる内容や考えを法に織り込んでいただくよう提案することだと思います。国が方針を示せない時は、JEASが素案やガイドライン案を冊子という形式で発表してきました。

このように我々は民主主義、立憲主義、文民統制のプロセスを根幹におき、大義があれば前例の無いことも果敢にチャレンジし、新たな道を作ることで産業的・社会的役目を次の時代へと恩送りしております。リスクから逃げるのではなく、リスクに立ち向かってこそ、未来への活路が見いだせるのです。皆様、防犯民主主義の砦としての工業会JEASに引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

◇

第1号議案「令和6年度事業報告」での事業概要は次の通り。

みなさまのお蔭を持ちまして6月3日で設立24年目を迎えました。JEASは平成30年には経済産業省よりEASと防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年9月に個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する産業団体に成長しております。

さて、最近の犯罪の状況ですが、令和4年には20年連続で減少してきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じております。令和5年に続き令和6年度はさらに悪化し、特に青少年（触法少年含む）検挙・補導数令和4年対比36％も増加しています。盗品の換金先のなんと55％がネットオークションとフリマサービスとなっており、結果的にオンラインマーケットプレイスが泥棒市場と化している感があります。

万引の特性としては、高齢者の常習万引、セルフレジ不正の顕在化、組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、国際化、悪質化がますます目立ってきています。

①その対策に向けて、7月に第8回JEAS検定講習会を開催しました。進化する顔認証システムの安全利用のための第5回推奨顔認証システム検定を9月に実施し、第4回科学保安検定講習会を11月に開催しました。

②安全対策については、5月の公安調査庁の講師に『最新版 サイバー情勢を学ぶセミナー』実施しました。11月にJEASデータガバナンス タスクフォース合宿を行い、AI（画像と文字）をご理解いただくためのデータガバナンス、ガイドライン・告知とチェックリスト・熱海小嵐宣言を作成しました。6月に「JEAS個人情報保護指針第4版徹底理解オンラインセミナー」を開催。7月JEAS個人情報保護指針第4版発出。3月4日セキュリティショー2025のJEAS特別セミナー「AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性」を開催し、多くの皆様に参加いただきました。

③国土交通省等のご指導をいただきながら4月に『交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト』を発足させました。7月に約640名のチェーンストア幹部が参加されているペガサス政策セミナーでJEASの活動をご説明しました。8月に開催された第1回ファミリーセミナー「電波ってすごい ゲルマニウムラジオ手作りセミナー」には18名の子供達とその保護者が参加されました。

今後も、社会からの要請や会員各位の希望をよくよく確認し、安全・安心ために向けた、つながりの輪を地域や世代を超えて構築して参ります。

第2号議案「令和7年度職業専門委員の選出」では、昨年度に続き、業界に長らく貢献し後進の模範となっている人たちを「職業専門委員」に認定した。

会員の増減では、正会員入会5社（企業警備保障、セーフィー、ダイワ通信、HIKVISION JAPAN、HOUSEI）、賛助会員入会3社（アスタリスク、パトライト、ボックス・ワン）となっている。

第4号議案「令和7年度事業計画」の要旨は次の通り。

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会の役割を果たそう！

防犯民主主義実現の旗の下、EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

本年度も当工業会では、以下の観点で事業及び各対策を強化していく所存です。

テーマ：防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽

①工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強

▽セキュリティショー2026にブース出展、セミナー開催 2026年3月3日～6日

▽第3回ファミリーセミナー「現地で学ぶ復興支援～共に生きる～」8月1日開催〈新〉

▽2026年10月開催の第22回アジア太平洋小売業者大会（東京大会）への協力〈新〉

▽先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動

②万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動

▽通常総会記念講演会&大プレゼン大会「JEAS AWARD 2025」開催 6月6日〈新〉

▽2025年度ロス対策年間チャートの制作

▽日経万引対策ビデオ視聴と年間チャート活用セミナー4月3日開催

▽新聞や雑誌などへの運用事例の強化、工業会FBやメルマガでの各社紹介

③万引防止システムの知識向上のための研修

▽15分勉強会／JEASメール／JEASフェイスブック／X／新聞連載等での情報提供

▽第5回科学保安講習会開催9月25日 第5回科学保安前講習8月（ネットで自己学習）

▽心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動

▽EASステッカーやEAS導入店表示POPの普及促進、北大での干渉テストの継続実施

④無人店舗などのDX推進とLP両立のための調査

▽DX推進プロジェクトリテールAIの研究施設の宮若ツアー2日間コース：9月～10月〈新〉

▽AI関係やDX推進の団体やコンソーシアムとの連携

⑤機器の信頼性アップのための対策推進

▽第6回推奨顔認証システム検定の審査5月募集開始 試験日：7月22日～7月23日

▽「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇）」の冊子作成〈新〉

▽電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得

⑦解除器の盗品流通防止活動

▽ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続

⑧万引防止システム関係に係る関係法令対策活動

▽個人情報保護法対応と個人情報保護委員会への調査等協力

▽いわゆる3年ごと見直しに向けての業界・自社の取組みのウェビナー開催5月13日開催〈新〉

⑨業界発展を目的としたのための検定制度の継続調査、提案等の活動

▽JEAS推薦製品認定

▽企業間の協働防犯の推進！即時情報や分析データの共有をネットも含めて進める。

▽海外から来られた新たな仲間の紹介の強化

▽ロス・プリベンション教育の推進（ロス対策士合格者報奨制度、新テキスト無償配布など）

▽2026年度の職業専門委員の発表

⑩所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化

▽電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省等と連携

▽万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体等と連携

◇

続いて新役員挨拶（理事・顧問）、新会員紹介、新任委員挨拶、記念写真が行われた。

次に感謝状贈呈が行われてウエルシア薬局を代表して同社取締役副社長の石田岳彦氏へ贈呈された。コスモス薬品を代表して同社総務部顧問の西澤康雄氏へ贈呈された。NECスマートリテール統括部コンシューマーエクスペリエンスグループの摺田祐司氏へ贈呈された。

◇

続いて職業専門委員挨拶の後、来賓として総務省総合通信基盤局電波部電波環境課課長補佐の水井健太氏が挨拶した。

◇

第2部は記念行事の大プレゼン大会が9階スズランで行われた。

毎年行っていた第2部の記念講演をとり止めて、会員各社の15分プレゼン提案の大会「JEAS AWARD 2025」を開催した。審査基準は①小売業でのニーズ②内容・発表の分かり易さ③内容・話が楽しい④ガバナンスやSDGsの観点⑤真の防犯マーケティング度。審査員はものつくり大学教養教育センターの井坂康志教授ら。

次に来賓として個人情報保護委員会事務局企画官の長沼裕史氏が挨拶した。

◇

第3部意見交換会（懇親）は8階スイセンで行われた。来賓として経済産業省商務・情報政策局情報産業課課長補佐の籠寛之氏が挨拶した。来賓として国土交通省鉄道局総務課危機管理室危機管理室室長の坪原和洋氏が挨拶した。乾杯の挨拶を日本小売業協会専務理事の湊元良明氏が行った。

「第24回 令和7年度通常総会」のもようした

最初にJEASの稲本義範会長が挨拶

来賓挨拶した総務省総合通信基盤局電波部電波環境課課長補佐の水井健太氏

第2部記念行事の大プレゼン大会のもよう

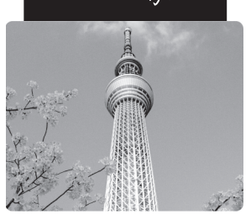
放送開始100年を経て、日本の放送はどこに向かうのか。

放送に携わってきた方々をはじめ、メディアの研究者ジャーナリスト、インターネット関係者など
メディアに関わりの深い各界を代表する
識者のみなさまに今後の放送の役割や
在り方を聞く連続インタビュー

識者への連続インタビュー

2024年9月2日連載スタート

第一回　放送は情報空間での新たな役割を打ち出すべき
第二回　作り手がテレビの特性にちゃんと向き合っているか
第三回　強調したいのは「リニアな総合編成」を残すこと
第四回　放送は社会の情報環境として維持すべき
第五回　放送局はもっと個性を打ち出すべき



放送100年特別企画
放送ルネサンス
～わたしの提言・次世代につなぐために～

放送100年
特別企画
無料配信中

両企画はホームページにて掲載中です。
バックナンバーも好評配信中。

「電波タイムズ」は、戦後の放送法を含む電波三法の施行に合わせて創刊され、放送・情報通信を専門とする唯一の全国紙として、放送の変遷を伝えてまいりました。2025年3月で放送開始100年を迎えるにあたり、各方面の識者への**連続インタビュー『放送ルネサンス』**と、当社創設者の記録をもとにした**長期連載『実録・戦後放送史』**の2つの企画により、放送の過去と未来を考えます。

実録 戦後放送史
電波取材に生涯を捧げた記者 阿川秀雄の記録
放送100年特別企画

戦後、放送はどの様な経緯を経て民主化され、発展してきたのか。

戦後の放送の歴史を取材し続けて来た弊社創設者である
阿川秀雄氏の著書「続・私の電波史」をもとに
戦後の放送の歴史を詳細な取材記録でたどる長期連載

当社創設者の記録

2024年9月4日連載スタート

第1回　通信記者の第一歩をNHKから
第2回　GHQによる放送民主化
第3回　労働組合の結成
第4回　のど自慢のはじまり
第5回　放送委員会の設置

電波タイムズ
The Dempa Times

全国で2万部発行の放送・情報通信専門紙！

ご購読募集中　毎週 月・水・金 発行（祝祭日休刊）

『専門紙だから届けられる情報』を試してみませんか？
今なら1ヶ月無料！ 下記QRコードからお問い合わせください

新聞購読料	1部 370円（税込）から購入できます	
1ヵ月	3ヵ月	12ヵ月
3,703円（税込）	11,109円（税込）	44,439円（税込）

広告主募集中

『新聞・WEB広告で伝える価値』を気軽に、リーズナブルに！
商品宣伝、会社の認知向上、イベント告知にご活用ください
お客様の多様なニーズにお応えします！ お気軽にお問合せください

『電波タイムズ』の強み

「NHK・民放などの放送事業者」「総務省などの官公庁」
「放送・情報通信関連メーカー」「無線関連団体」「教育機関」
幅広い業界から支持されています

①安定した購読者層・ターゲットを絞った広告効果
②スポット広告のみならず、連続広告もリーズナブルに
③イベント・内覧会の案内、番組の予告、出版物の宣伝等にも柔軟に対応
④生徒・学生の募集、企業の各種告知等にも活用可能

電波タイムズは隔日刊（月・水・金）の発行です

お問い合わせフォーム

昭和25年創刊
日本で唯一の放送・情報通信の専門紙
The Dempa Times

株式会社 電波タイムス社
〒150-0011 東京都渋谷区東2丁目
20番13号シャトレー渋谷201

お気軽にお問い合わせください
03-5774-9005